

令和4年11月15日(火)
国土交通省関東地方整備局
日光砂防事務所

記者発表資料

砂防技術発展に貢献した内務技師 蒲孚 の足跡を辿る

ながこ かばまこと
—高橋良子氏の祖父 蒲孚 が残した稲荷川砂防堰堤群—

近代砂防として大正5年から内務省により直轄砂防事業が開始されている。

東京帝国大学農科大学林学科(明治44年卒)、更に同大学工科大学土木工学科(大正3年卒)において学業を修め、農商務省山林局を経て内務省東京土木出張所に内務技師(大正7年)となった蒲孚氏(以後、蒲技師)がいた。

蒲技師は、関東、東海、北陸を中心に100基もの砂防堰堤建設に携わり、現在では大正から昭和時代の治水砂防を築いた巨匠といわれている(昭和58年逝去、享年95)。

蒲技師の没後39年が経過した令和4年2月、旧蒲家宅から蒲技師宛の絵葉書が多量に発見され、高橋良子氏(蒲技師の孫)は絵葉書の調査を始めた。

高橋良子氏は絵葉書の調査をとおして蒲技師の砂防堰堤建設に関わる功績を知り、重要文化財となっていた本宮砂防堰堤(富山県)を同年6月に見学したとき、蒲技師の足跡を辿ることを決意された。

今回、日光砂防事務所は高橋良子氏とともに、蒲技師が携わり100年以上前に完成し現存している稲荷川流域の砂防施設について、今でも世界遺産や日光の人々の命・暮らしを土砂災害から守っている稲荷川砂防堰堤群などを辿ることになりました。

○蒲技師の足跡 稲荷川砂防堰堤群を辿る

- 実施日時: 令和4年11月18日(金) 10:00~12:30
- 場 所: 稲荷川流域(稲荷川床固群、稲荷川砂防堰堤群、日向砂防堰堤)
- 来 訪 者: 高橋良子氏 他2名
- 要 旨: 蒲技師が計画・設計した砂防施設を辿る
※添付資料 (資料1) 内務技師 蒲孚 の足跡を辿って

- ✓ 本件の後、令和4年11月18日(金) 13:30~16:30に稲荷川の歴史的砂防施設を日光砂防ボランティア協会と共同して点検を実施します。

□報道関係者様へ

取材を希望される場合は、11月17日(木)16時まで下記の間い合わせ先へご連絡ください。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。また、体調が優れないときの取材は控えていただきますよう重ねてお願いいたします。

日光砂防事務所ホームページURL <http://www.ktr.mlit.go.jp/nikko/>

| 発 表 記 者 ク ラ ブ | |
|---------------|----------|
| 竹芝記者クラブ | 神奈川建設記者会 |
| 栃木県政記者クラブ | 日光記者クラブ |

| 問 い 合 わ せ 先 | |
|-------------|-----------------------|
| 日光砂防事務所 | 副 所 長 一場 敏 (いちば さとし) |
| | 事業対策官 大浦 二郎(おおうら じろう) |
| | 電話 0288-54-1191 (代表) |

- 実施日時：2022(令和4)年11月18日(金) 10:00~12:30〈予定〉
- 場 所：稲荷川流域(稲荷川床固群、稲荷川砂防堰堤群、日向砂防堰堤)
- 来 訪 者：高橋良子氏 他2名
- 要 旨：蒲技師が計画・設計した砂防施設を辿る

■蒲技師による稲荷川流域砂防計画

- ・砂防堰堤16基、床固工4基の計20基もの砂防施設を計画・設計した

■蒲技師が手掛けた砂防堰堤の例

〈稲荷川第2砂防堰堤〉

- ・100年以上前に完成し現存している稲荷川流域で最も長い歴史をもつ砂防堰堤
- ・今でも世界遺産や日光の人々の命・暮らしを土砂災害から守っている



完成直後の稲荷川第2砂防堰堤(1920<T9>.8.2)

高さ5.3m、長さ50.5m、天端幅2.7m



完成後102年が経過した現在の稲荷川第2砂防堰堤

登録有形文化財 H14.8.21登録
土木学会選奨土木遺産 H26.11.10

蒲 孚(かば まこと)

【功績】 (土木人物事典より引用、一部加筆)

- ・近代砂防として1916(大正5)年より内務省直轄砂防事業が開始
- ・大正から昭和時代の治水砂防を築いた巨匠
- ・**稲荷川第二堰堤を1920(大正9)年に国内3番目のコンクリート重力式砂防堰堤として完成させる**
- ・**勝沼堰堤、芦安堰堤、本宮堰堤など関東、東海、北陸を中心に100基もの砂防堰堤建設に携わる**
- ・コンクリート堰堤の基礎を確立した技術者

【略歴】 (富士川水系御勅使川における歴史的砂防施設 小川紀一郎 土木学会 土木史研究講演集 Vol27, 2007より引用)

- ・1888(明治21)年2月17日 東京生まれ
- ・1911(明治44)年 東京帝国大学農科大学林学科卒
- ・1914(大正 3)年 東京帝国大学工科大学土木工学科卒、農商務省山林局入省
- ・**1917(大正 6)年 内務省東京土木出張所に転じ、翌年に内務技師となる**



1925年撮影 蒲技師 37歳
高橋良子氏提供

【背景】

- ・2022年2月、旧蒲家宅から蒲技師宛の絵葉書を発見し、高橋良子氏は調査を開始
- ・高橋良子氏は蒲技師の功績を知り、まずは重要文化財の本宮砂防堰堤(富山県)を同年6月に見学
- ・立山連峰と本宮堰堤の美しさに感動するとともに祖父の偉大さを知り、足跡を辿ることを決意
- ・同年11月に蒲技師が携わった稲荷川砂防堰堤群などを辿ることになる

高橋良子(たかはし ながこ)

- ・**蒲技師の孫**、東京都文京区 在住